

問8 あなたが勤務する事業所のサービス種別についてお答えください。(どちらかに○)

1 居宅介護支援 2 介護保険施設

問8で選択肢1とお答えの方にお聞きします。

問9 ケアプランを作成する際、事業所数または定員など、量的に不足していると感じるサービスは何か。(○は主なもの3つまで)

1 訪問介護 2 訪問入浴介護 3 訪問看護 4 訪問リハビリテーション 5 通所介護 6 通所リハビリテーション 7 居宅療養管理指導 8 短期入所療養介護 9 居宅介護 10 福祉用具貸与 11 特定福祉用具販売 12 住宅改修 13 定時巡回・随時対応型訪問介護看護 14 認知症対応型通所介護 15 小規模多機能型居宅介護 16 夜間対応型訪問介護 17 看護小規模多機能型居宅介護 18 線いなし

問10 インフォーマル(制度化されていない)サービスについて、対象者の在宅生活を支えるために充実が必要と感じる支援は何ですか。(○は主なもの3つまで)

1 日常の声かけ・見守り 2 洗濯、家のロの掃除など 3 ゴミ出し、庭掃除など 4 食事(調理)の支援 5 買い物支援 6 話し相手 7 移動の支援(主として交通手段に関する) 8 外出の付き添いや介助(主として外出先での身体的介助に関する) 9 病院や公共施設での案内(病院や公共施設での付き添いや介助を含む) 10 役所に提出する書類作成の手助け 11 配食や食のサービス提供 12 レクリエーション活動 13 安否確認サービス 14 緊急時の通報システム 15 家族介護者への支援 16 その他()

問11 あなたは、サービス利用者やその家族から、ケアプランの内容等について休日や夜間に電話対応を求められることはありますか。(○は1つ)

1 よくある 2 たまにある 3 ほとんどない

2. 職場の環境についてお答えください。

問12 あなたの職場環境全体について、あなたはどの程度満足していますか。(○は1つ)

1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば不満である 5 不満である

問13 あなたの職場では、業務に関する研修や資格取得に対する助成制度はありますか。(どちらかに○)

1 ある 2 ない

問14 あなたはケアマネジャーとしての仕事に対する「やりがい」をどのように感じていますか。また、ケアマネジャーの仕事に対する満足度をどのように感じていますか。

《やりがい》(○は1つ)

1 やりがいがある 2 どちらかといえばやりがいがある 3 どちらともいえない 4 あまりやりがいはない 5 やりがいはない

《満足度》(○は1つ)

1 満足している 2 どちらかといえば満足している 3 どちらともいえない 4 どちらかといえば不満である 5 不満である

問15 あなたは、ケアマネジャーの仕事を今後も続けていきたいと思いませんか。(○は1つ)

1 今の事業所で続けたい 2 別の事業所で続けたい 3 続けるのは難しい 4 続けたくない

問16 あなたがケアマネジャーの仕事が続けるのが難しい、または続けたくないと思っていいる最大の理由は何ですか。(○は1つ)

1 他にやりたい仕事があるため 2 仕事の内容に不安や不満があるため 3 身体的な理由で続けるのが難しい、または続けたくないため 4 精神的な理由で続けるのが難しい、または続けたくないため 5 金銭的な理由で続けるのが難しい、または続けたくないため 6 キャリアアップが望めないため 7 一生続けられる仕事か不安があるため 8 家庭の事情(子育てや介護)などで続けるのが難しいため 9 その他()

問17 奈良県福祉・介護事業所認証制度について、ご存じですか。(どちらかに○)

1 はい 2 いいえ

問18 あなたが敬愛する事業所は、ケアプランデータ連携システムを導入していますか。(どちらかに○)

1 すでに導入している 2 導入されていない

問19 導入した結果、どのような問題点がありますか。(○は主なもの1つ)

1 操作方法が難しく、実用的でない 2 コストが高い 3 業務効率に結びついていない 4 ケアの質が下がった 5 時に問題はない 6 その他()

問20 あなたは、ケアプランデータ連携システムを導入することについて、どのようにお考えですか。(○は1つ)

1 進めるべきである 2 どちらかといえば進めるべきである 3 どちらかといえば進めるべきでない 4 進めるべきでない

3. 関係機関との連携状況についておたずねします。

問21 サービス利用者の情報について、次にあげる関係機関、職種との連携はどのような状況ですか。
(以下の①～④それぞれについて、○は1～4のいずれか1つ)

連携状況	よく れている	と ま り て い ない	ほとんど ない
① 主治医・かかりつけ医	1	2	3
② 歯科医師	1	2	3
③ 薬剤師	1	2	3
④ 理学療法士等のリハビリ職	1	2	3
⑤ 医療ソーシャルワーカー	1	2	3
⑥ 地域包括支援センター	1	2	3
⑦ 他の居宅介護支援事業所等	1	2	3
⑧ 介護保険外サービス事業者	1	2	3
⑨ 市町村の介護保険担当者等	1	2	3
⑩ 民生委員、福祉協力員など	1	2	3
⑪ 社会福祉協議会	1	2	3

問22 介護従事者と医療関係者等が多職種連携を進める上で、どのような問題点があるとお考えですか。
(○は主なもの1つ)

1 具体的な連携方法が分からない 2 異職種間での意思疎通が難しい
3 連携するためのツール(ICT)を活用したシステム等がない 4 所属している組織の理解が得られない
5 市町村等からの支援
6 その他()
7 特になし

問23 サービス利用者の主治医・かかりつけ医とあなたとの連携はどのような状況ですか。
(○は主なもの3つまで)

1 連携して情報交換やよりよいケアに向けた検討をしている
2 主治医・かかりつけ医の意見をケアプランに反映している
3 利用者の要望を聞いて主治医・かかりつけ医と調整している
4 主治医・かかりつけ医の指示を利用者に伝えている
5 利用者の情報提供を行っている
6 利用者の体調急変時等に連絡している
7 その他()
8 特段の連携は行っていない

問24 サービス利用者の主治医・かかりつけ医との連携を図る上で、どのような問題点がありますか。
(○はいくつでも)

1 面識がない
2 主治医・かかりつけ医が多忙で連絡がとれない
3 利用者に対する主治医・かかりつけ医の理解が得られない
4 通院二対する主治医・かかりつけ医の理解が得られない
5 医療のことが難しく分らない
6 自らが多忙で連絡がとれない
7 勤務日や時間がかかり一致しない
8 主治医・かかりつけ医の意向と利用者の希望が一致しない
9 その他()
10 特になし

問25 ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取組状況についてお答えください。(○は1つ)

※ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは、医療従事者から適切な情報提供と説明がなされたうえで、人生の最終段階の医療やケアについて、本人が家族や医療・介護従事者等信頼できる周囲の関係者と事前に繰り返し話し合おうとすることをいいます。

1 実践している
2 実践したことがない(実践する機会がない場合も含む)
3 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
4 知らない・聞いたことがない

問26 ACPを実践する上で、どのような問題点がありますか。(○は主なもの1つ)

1 本人や家族の意向の把握
2 家族へのケア・フォロー
3 関係する施設との連携(情報の共有等)
4 具体的な方法(マニュアル等)の整備
5 特になし
6 その他()

問27 ACPを実践するために、どんなツールが活用できるとお考えですか。(○は主なもの1つ)

1 パンフレット
2 書き込み式エンディングノート
3 取組に係る講習会
4 具体的な参考事例集
5 特になし
6 その他()

問28 地域包括支援センターにどのような機能を強化してほしいとお考えですか。
(○は主なもの5つまで)

1 困難事例への支援の充実
2 研修・指導内容の充実
3 介護者支援の充実
4 相談機能の増加、緊密な情報交換
5 情報提供の充実
6 関係機関の紹介
7 地域との交流機会の増加
8 民生委員、福祉協力員などの連携強化
9 介護予防活動の充実
10 医療と介護の連携強化に向けた支援の充実
11 生活支援の適正利用に向けた啓発
12 成年後見制度の広報
13 認知症への支援の充実
14 生活支援の充実
15 その他()
16 特になし

問29 あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。(○はいくつでも)

1 知らない、聞いたことがない
2 詳しくは知らないが聞いたことはある
3 後見人ができること、できないことが何かを知っている
4 成年後見制度利用が必要と思われるケースが分かる
5 成年後見制度利用についての相談窓口を知っている
6 市町村長による申立てが可能であることを知っている
7 任意後見制度があることを知っている
8 日常生活自立支援事業があることを知っている

問30 高齢者虐待への対応策として必要と思われる制度や仕組みについてお答えください。
(○はいくつでも)

1 福祉職員等向けの相談窓口の整備	2 虐待者への相談・支援の充実
3 緊急避難の受け入れ体制の充実	4 高齢者虐待に関する法制度の整備
5 高齢者を見守る地域等のネットワークの確立	6 対応者をフォローする機関の設置
7 虐待者の心身のリハビリテーション体制の充実	8 対応マニュアルの整備
9 機関相互の情報共有	10 住民に対する教育・啓発
11 住民向けの相談窓口の整備	12 機関職員等に対する教育・啓発の機会の充実
13 警察・司法機関との連携・介入	14 地域福祉権利擁護事業の充実
15 その他()	

4. あなたご自身や所属の事業所のことについておたずねします。

問31 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

1 男性	2 女性	3 その他
------	------	-------

問32 あなたの年齢(満年齢)をお答えください。(令和7年9月1日現在でお答えください)

1 20代	2 30代	3 40代
4 50代	5 60代	6 70歳以上

問33 現在の主たる勤務地はどこですか。(○は1つ)

1 奈良市	2 大和高田市	3 大和郡山市	4 天理市	5 橿原市
6 桜井市	7 五條市	8 御所市	9 生駒市	10 香芝市
11 葛城市	12 宇陀市	13 山添村	14 平群町	15 三郷町
16 斑鳩町	17 安堵町	18 川西町	19 三宅町	20 田原本町
21 曾爾村	22 御杖町	23 高取町	24 明日香村	25 上牧町
26 王寺町	27 広陵町	28 河合町	29 吉野町	30 大淀町
31 下市町	32 黒滝町	33 天川村	34 野迫川村	35 十津川村
36 下北山村	37 上北山村	38 川上村	39 東吉野村	

調査にご協力いただき、ありがとうございます。

高齢者の生活・介護等に関する県民アンケート調査 ご協力をお願い

日頃より、奈良県政へのご協力をいただき、ありがとうございます。

このたび、奈良県におきまして、県民の高齢期の生活・介護等に関する意識や実態を正確に把握し、県の高齢者福祉施策に反映させるための調査を実施します。調査の結果は、県高齢者福祉計画及び第10期介護保険事業支撥計画の策定など、今後の高齢者福祉行政を推進する上で基礎資料として活用させていただきます。なお本調査票は、かかりつけ医、地域医療の観点から奈良県内の医院・診療所の医師あてに送付させていただきます。

ご回答は無記名方式です。ご回答いただいた内容は統計的に処理するため、個人が特定されることはありません。また調査目的以外には使用しませんので、情報漏洩などのご心配は一切ございません。

お忙しいところお手数をかけますが、一人でも多くの方のご回答により有効な調査結果につながります。調査の趣意をご理解いただき、ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。

奈良県 福祉保険部 介護保険課長

ご回答に当たってのお願い

1. 医師の方にご回答をお願いします。
2. 令和7年9月1日現在の状況についてご回答ください。
3. 回答方法は、調査票(紙)への記入またはインターネット(別紙参照)のいずれかをお選びください。
4. 調査票(紙)でご回答いただく場合、同封の返信用封筒に入れてお近くの郵便ボックスに投函してください。切手は不要です。
5. この調査は「無記名方式」ですので、調査票や返信用封筒にお名前やご住所は記入しないでください。
6. インターネットでご回答いただく場合、返信用封筒は破棄(捨て)てください。

ご回答期限：令和7年10月24日(金曜日)
※ポストへの投函もこの日までお願いいたします。

【調査に関するお問合せ先】
奈良県福祉保険部介護保険課計画係
〒620-8501 奈良市築大路町30番地
電話 0742-27-8524

8. 医師

1. 在宅医療の実施状況についておたずねします。

問1 貴診療所では、訪問診療や往診などの在宅医療を行っていますか。(どちらかに○)

1 行っている
2 行っていない

問2 貴診療所では在宅医療を行っている患者の人数は何人ですか。(○は1つ)

- 1 0人 2 1~4人 3 5~9人 4 10~14人
5 15~19人 6 20~24人 7 25~29人 8 30人以上

問3 貴診療所で在宅医療を行っている患者の傷病等の種類はどのようなものがありますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|---------------------|------------------|----------------|
| 1 脳血管疾患(脳卒中) | 2 脳血管疾患(脳卒中)の後遺症 | 3 心疾患(心臓病) |
| 4 悪性新生物(がん) | 5 呼吸器疾患 | 6 関節疾患 |
| 7 糖尿病(パーキンソン症候群を除く) | 8 パーキンソン症候群 | 9 精神疾患(認知症を除く) |
| 10 認知症 | 11 糖尿病 | 12 視覚・聴覚障害 |
| 13 骨折・転倒 | 14 骨髄損傷 | 15 高齢による衰弱 |
| 16 重症心身障害者 | 17 その他() | |
| 18 傷病名不明 | | |

問4 貴診療所が在宅医療を行われる上でどのような苦労がありますか。(○は主なもの5つまで)

- | | |
|-----------------------------|-------------------------------|
| 1 患者や家族の理解・協力を得ること | 2 24時間訪問診療可能なスタッフの確保 |
| 3 緊急時入院又は搬送できる医療機関との連携体制の確保 | 4 緊急時の受け入れ等、専門医療機関との連携体制を構築する |
| 5 緊急時に連絡を受けられる診療所の体制の確保 | 6 夜間等緊急時に関係機関と連絡が取れない |
| 7 診療所構内の在宅医療に関する知識や技術の向上 | 8 介護関係者との連携・連絡体制の構築 |
| 9 在宅医療に必要な医薬品・機器の確保 | 10 在宅医療を希望する患者が多すぎて手が回らない |
| 11 診療報酬が合わない | 12 移動時間がかかり非効率 |
| 13 プライベートの時間の確保が難しい | 14 外来時間内の往診依頼の対応 |
| 15 その他() | |
| 16 特になし | |

問5 今後、在宅医療・在宅ケアを促進するために、どのような取り組みが重要だと考えていますか。(○は主なもの5つまで)

- | |
|---------------------------------------|
| 1 複数の医療機関が在宅医療を担いしあう体制や情報提供手段を構築する |
| 2 緊急時の受け入れ等、専門医療機関との連携体制を構築する |
| 3 在宅生活を支える訪問看護など介護保険サービス充実を図る |
| 4 地域の診療所全体の在宅医療に関する知識や技術の向上を図る |
| 5 地域ケア会議やサービス担当者会議等に参加し、介護との連携体制を構築する |
| 6 在宅医療の重要性を地域の医療機関に啓発・普及する |
| 7 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の普及を図る |
| 8 介護する家族に対する支援の充実を図る |
| 9 地域住民への在宅医療に関する普及・啓発を行う |
| 10 診療報酬を改定する |
| 11 情報共有ツールの活用 |
| 12 その他() |
| 13 特になし |

問1で選択された2におおむねの診療額をお聞かせします。

問6 貴診療所が訪問診療や在宅診療を行っている理由は何ですか。(○は主なものの3つまで)

- 1 対象となる患者がいらないから
- 2 対象となる患者はいるが、住まいが遠くて対応が困難だから
- 3 昼間・夜間の緊急時に対応できる医師の体制を確保できないから
- 4 昼間・夜間の緊急時に対応できる職員等の体制を確保できないから
- 5 緊急時に連携ができる専門医療機関がないから
- 6 介護等他分野との連携ができないから
- 7 看取りの対応が困難だから
- 8 採算が合わないから
- 9 自分の時間を持てないから
- 10 その他()

問7 今後とも高齢者の医療ニーズの高まりが見込まれますが、貴診療所では在宅医療を行う予定や意思はありますか。(どちらかに○)

- 1 ある
- 2 ない

問7で選択された2におおむねの診療額をお聞かせします。

問8 貴診療所が今後とも在宅医療を行う予定や意思がない理由は何ですか。(○は主なものの3つまで)

- 1 診療料が在宅医療に合わないから
- 2 医師や職員が高齢で、対応に不安があるから
- 3 時間・余裕がないから
- 4 在宅医療は時間的に拘束時間が長くなるから
- 5 十分な職員体制を確保できないから
- 6 対象となる患者がいらないから
- 7 在宅医療を行うつもりがそもそもないから
- 8 時間外の対応が困難だから
- 9 在宅医療に必要な知識や技術が十分でないから
- 10 在宅医療に必要な医療材料や機器が十分でないから
- 11 採算が合わないから
- 12 その他()

問12 貴診療所では、認知症の患者やその家族等が来院された時、どのように対応していますか。(○は1つ)

- 1 相談や診療に応じている
- 2 相談や診療には応じていない
- 3 認知症の患者やその家族が来院した事例がない

問13 あなたは、サポーター医に治療に対する助言等を求め、認知症患者に対して療養計画に基づき治療を行う、「認知症療養指導料」を受けたことがありますか。(どちらかに○)

- 1 ある
- 2 ない

問14 あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。(○はいくつでも)

- 1 知らない、聞いたことがない
- 2 詳しくは知らないが聞いたことはある
- 3 後見人ができること、できないことが何かを知っている
- 4 成年後見制度利用が必要と思われるケースが分かる
- 5 成年後見制度の利用についての相談窓口を知っている
- 6 市町村長による申立てが可能であることを知っている
- 7 任意後見制度があることを知っている
- 8 日常生活自立支援事業があることを知っている

3. 介護保険に係る事業の実施状況についておたずねします。

問15 貴診療所、または、併設している事業所において提供している介護保険サービスの種類の種類はどれですか。(○はいくつでも)

- 1 居宅介護支援
- 2 訪問介護
- 3 訪問入浴介護
- 4 訪問看護
- 5 訪問リハビリテーション
- 6 居宅療養管理指導
- 7 通所介護
- 8 通所リハビリテーション
- 9 短期入所生活介護
- 10 短期入所療養介護
- 11 特定施設入居者生活介護
- 12 福祉用具貸与
- 13 特定福祉用具販売
- 14 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- 15 夜間対応型訪問介護
- 16 認知症対応型通所介護
- 17 小規模多機能型居宅介護
- 18 認知症対応型共同生活介護(認知症高齢者グループホーム)
- 19 在宅療養支援施設入居者生活介護
- 20 地域密着型介護老人福祉施設(認知症対応型通所介護)
- 21 看護小規模多機能型居宅介護
- 22 地域密着型通所介護
- 23 介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)
- 24 介護老人保健施設
- 25 介護医療院
- 26 提供していない

問9以降は全員にお聞かせします。

問9 現在、貴診療所でオンライン診療を導入している患者数は毎月何名ですか。(○は1つ)

- 1 5名以下
- 2 5名～10名程度
- 3 10名～20名程度
- 4 20名～50名程度
- 5 50名以上
- 6 オンライン診療を導入していない

2. 認知症患者への対応についておたずねします。

問10 貴診療所では、認知症に関する診断・治療を行っていますか。(○は1つ)

- 1 診断・治療ともに行っている
- 2 診断は行っている
- 3 治療は行っている
- 4 いずれも行っていない

問11 あなたは、かかりつけ医認知症対応力向上研修を受講したことがありますか。(○は1つ)

- 1 ある
- 2 ない(当該研修を知っている)
- 3 ない(当該研修を知らない)

4. 関係機関との連携状況についておたずねします。

問16 あなたが関わる高齢者の情報について、次にあげる関係機関、職種との連携はどのような状況ですか。(以下の①～⑩それぞれについて、○は1～4のいずれか1つ)

連携	よく できている	と ま ま で い る	あ ま り な い	さ り な い	状 況 と ほ と ん ど な い
①他の医療機関	1	2	3	4	
②歯科医師	1	2	3	4	
③薬剤師	1	2	3	4	
④理学療法士等のリハビリ職	1	2	3	4	
⑤医療ソーシャルワーカー	1	2	3	4	
⑥地域包括支援センター	1	2	3	4	
⑦居宅介護支援事業所等	1	2	3	4	
⑧介護保険外サービス事業者	1	2	3	4	
⑨市町村の介護保険担当者等	1	2	3	4	
⑩民生委員、福祉協力員など	1	2	3	4	
⑪社会福祉協議会	1	2	3	4	

問17 医療関係者と介護従事者等が多職種連携を進める上で、どのような問題点がありますか。(○は主なもの1つ)

- 1 具体的な連携方法が分からない
- 2 異職種間での意思疎通が難しい
- 3 連携するためのツール(ICT)を活用したシステム等がない
- 4 所属している組織の理解が得られない
- 5 その他() 6 特にない

問18 集珍療所では、福祉・介護部門(行政や地域包括支援センター、社会福祉協議会、他の介護サービス事業所等)とどのような連携をとっていますか。(○はいくつでも)

<ol style="list-style-type: none"> 1 患者の健康管理や処置について助言・情報提供を行っている 2 在宅医療の提供に関する情報提供を行っている 3 症状急変時の受入を行っている 4 ケースカンファレンス等への研修講師等の派遣を行っている 5 市町村もしくは地域包括支援センターの間接する地域ケア会議に参加している 6 その他() 7 その他() 8 特段の連携を行っていない 	<p>問19 患者本人のケアマネジャーとの連携や情報共有の状況はいかがですか。(○は1つ)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 必ずケアマネジャーと連携ができている 2 どちらかといえば、ケアマネジャーと連携ができている 3 どちらかといえば、ケアマネジャーと連携ができている 4 全くケアマネジャーと連携できていない
--	--

問19で選択された1つとその他の診療所をお聞きます。

問20 貴診療所においてケアマネジャーとの連携ができていない理由は何ですか。(○は主なもの1つ)

- 1 ケアマネジャーから連絡に関する依頼がない
- 2 多忙で連絡のための時間が取れない
- 3 報酬への反映が不十分で費用が賄われない
- 4 勤務日や時間が一致しない
- 5 連携の必要性を感じていない
- 6 その他()

問21 貴診療所では、ケアプラン作成にあたって開催される1サービス担当者会議に参加を要請され、参加したことがありますか。(○は1つ)

- 1 要請され、都合がつけば参加している
- 2 要請されたが、参加していない
- 3 現在参加していないが、過去には参加したことがある
- 4 要請されていないし、参加していない

問22 患者のケアマネジャーや利用している介護サービス事業者から提供を受ける必要がある情報にはどのようなものがありますか。(○は主なもの3つまで)

- 1 患者の履歴や過去の病歴に関する情報
- 2 患者の普段の食生活や健康に関する情報
- 3 患者の家族や周囲の人から得られる支援に関する情報
- 4 患者の経済状態に関する情報
- 5 患者が過去に起こした問題行動についての情報
- 6 その他()
- 7 特にない

問23 高齢者支援において、現在、連携ができていない機関・窓口はどこですか。(○は主なもの5つまで)

- 1 所在市町村の高齢福祉部門
- 2 所在市町村の高齢福祉以外の福祉部門(障害、生活保護等)
- 3 所在市町村の福祉以外の部門(公営住宅等)
- 4 他市町村の高齢福祉部門
- 5 他市町村の高齢福祉以外の福祉部門
- 6 他市町村の福祉以外の部門
- 7 地域包括支援センター
- 8 介護サービス事業所
- 9 介護保険施設
- 10 居宅介護支援事業所・ケアマネジャー
- 11 在宅介護支援センター
- 12 社会福祉協議会
- 13 他の医療機関
- 14 NPO・ボランティア等の民間機関
- 15 民生委員
- 16 福祉委員
- 17 民間事業者(郵便局、新聞、宅配業者等)
- 18 警察
- 19 その他() 20 特にない

問24 高齢者支援において、現在ではできていないが、今後、連携を強めなければならないと考えている機関・窓口はどこですか。(○は主なもの5つまで)

- 1 所在市町村の高齢福祉部門
- 2 所在市町村の高齢福祉以外の福祉部門(障害、生活保護等)
- 3 所在市町村の福祉以外の部門(公営住宅等)
- 4 他市町村の高齢福祉部門
- 5 他市町村の高齢福祉以外の福祉部門
- 6 他市町村の福祉以外の部門
- 7 地域包括支援センター
- 8 介護サービス事業所
- 9 介護保険施設
- 10 居宅介護支援事業所・ケアマネジャー
- 11 在宅介護支援センター
- 12 社会福祉協議会
- 13 他の医療機関
- 14 NPO・ボランティア等の民間機関
- 15 民生委員
- 16 福祉委員
- 17 民間事業者(郵便局、新聞、宅配業者等)
- 18 警察
- 19 その他() 20 特にない

問25 ACP(アドバンス・ケア・プランニング)への取組状況についてお答えください。(〇は1つ)
 ※ACP(アドバンス・ケア・プランニング)とは、医療従事者から適切な情報提供と説明がなされたうえで、人生の最終段階の医療やケアについて、本人が家族や医療・介護従事者等信頼できる周囲の関係者と事前に繰り返し話し合うプロセスのことをいいます。

- 1 実践している
- 2 実践したことがない(実践する機会がない場合も含む)
- 3 聞いたことはあるが、詳しくは知らない
- 4 知らない、聞いたことがない

問26 ACPを実践する上でどのような問題点がありますか。(〇は主なものを1つ)
 1 本人や家族の意向の把握 2 家族へのケア・フォロー
 3 関係する他施設との連携(情報の共有等) 4 具体的な方法(マニュアル等)の整備
 5 その他() 6 特になし

問27 ACPを実践するために、どんなツールが活用できると思えますか。(〇は主なものを1つ)
 1 パンフレット 2 書き込み式エンディングノート
 3 取組に係る講習会 4 具体的な参考事例集
 5 その他() 6 特になし

6. 貴診療所のことについてお答えください。

問28 貴診療所の所在市町村はどこですか。(〇は1つ)
 1 奈良市 2 大和高田市 3 大和郡山市 4 天理市 5 橿原市
 6 桜井市 7 五條市 8 御所市 9 生駒市 10 香芝市
 11 葛城市 12 宇陀市 13 山添村 14 平群町 15 三郷町
 16 斑鳩町 17 安堵町 18 川西町 19 三宅町 20 田原本町
 21 曾爾村 22 御杖村 23 高取町 24 明日香村 25 上牧町
 26 玉寺町 27 広陵町 28 河合町 29 吉野町 30 大淀町
 31 下市町 32 黒滝村 33 天川村 34 野迫川村 35 十津川村
 36 下北山村 37 上北山村 38 川上村 39 東吉野村

問29 貴診療所の診療科目はどれですか。(〇はいくつでも)
 1 内科 2 心療内科 3 呼吸器科 4 消化器科・胃腸科
 5 アレルギー科 6 リウマチ科 7 精神科 8 神経科
 9 神経内科 10 外科 11 整形外科 12 形成外科
 13 眼科 14 耳鼻咽喉科 15 皮膚科 16 泌尿器科
 17 その他()

問30 貴診療所は在宅療養支援診療所ですか。(〇は1つ)
 1 在宅療養支援診療所ではない
 2 在宅療養支援診療所(機能強化型)である
 3 在宅療養支援診療所(機能強化型ではない)である

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

9. 民生委員

1. 高齢者に対する支援の実施状況についておたずねします。

問1 あなたが担当している地区の高齢者の支援の要否等の状況について、どの程度の方を把握していますか。

- (○は1つ)
- 1 全員把握している
 - 2 ほぼ全員把握している
 - 3 7～8割把握している
 - 4 半分程度把握している
 - 5 あまり把握していない
 - 6 ほとんど把握していない

問2 あなたが担当している地区の高齢者について、関わりを担む方はどの程度いますか。

- (○は1つ)
- 1 5割以上
 - 2 3～5割程度
 - 3 2～3割程度
 - 4 1割程度
 - 5 ほとんどいない
 - 6 まったくいない

問3 あなたの担当地区では、高齢者からどのような困りごとの相談が多いですか。

- (○は主なもの3つまで)
- 1 知的高齢者などの声かけ・見守りに関すること
 - 2 生活保護・生活困窮に関すること
 - 3 病後や身体に関すること
 - 4 死後(葬儀、お墓、持ち家の処分等)に関すること
 - 5 成年後見制度の利用支援に関すること
 - 6 日常生活の支援(食料、通院、買い物など)に関すること
 - 7 高齢者虐待に関すること
 - 8 福祉・介護サービス利用に関すること
 - 9 消費者被害・特殊詐欺被害に関すること
 - 10 住民同士のトラブルに関すること
 - 11 緊急時(災害など)の支援に関すること
 - 12 入退院・入退所時の身元保証に関すること
 - 13 その他()

問4 あなたが高齢者から困りごとの相談を受けた際、対応に苦慮した相談はありましたか。

問3の選択肢から3つまで選んで、その番号をご記入ください。

問5 あなたの担当地区における高齢者に対する支援活動は、地域の高齢者のニーズにどの程度対応したものと

- なっていますか。(○は1つ)
- 1 十分に対応できている
 - 2 ある程度対応できている
 - 3 あまり対応できていない
 - 4 まったく対応できていない

問6 高齢者支援活動において直面している問題点としては、どのようなものがありますか。(○はいくつでも)

- 1 当事者が支援を拒む
- 2 当事者支援において地域住民の協力が得られにくい
- 3 福祉活動の場や拠点が不足している
- 4 課題が複雑化していて市町村の窓口が分からない
- 5 困りごとや支援に必要な情報収集が困難
- 6 市町村など関係機関から、個人情報提供が十分に行われない
- 7 民生委員活動に対する地域住民の理解が十分でない
- 8 必要な制度がない
- 9 認知症高齢者への対応方法がわからない
- 10 その他()
- 11 特になし

1 民生委員用

高齢者の生活・介護等に関する県民アンケート調査
ご協力をお願い

日頃より、奈良県政へのご協力をいただき、ありがとうございます。
このたび、奈良県におきまして、県民の高齢期の生活・介護等に関する意識や実態を正確に把握し、県の高齢者福祉施策に反映させるための調査を実施します。調査の結果は、県高齢者福祉計画及び第10期介護保険事業支援計画の策定など、今後の高齢者福祉行政を展開する上で基礎資料として活用させていただきます。なお本調査票は、無作為に抽出した民生委員の方に送付させていただきます。
ご回答は無記名方式です。ご回答いただいた内容は統計的に処理するため、個人が特定されることはありません。また調査目的以外には使用しませんので、情報漏洩などのご心配は一切ございません。
お忙しいところお手数をおかけしますが、一人でも多くの方のご回答がより有効な調査結果につながります。調査の趣意をご理解いただき、ぜひご協力いただけますようお願い申し上げます。

奈良県 福祉保険部 介護保険課長

ご回答に当たってのお願い

1. 民生委員の方にご回答をお願いします。
2. 令和7年9月1日現在の状況についてご回答ください。
3. 回答方法は、調査票(紙)への記入またはインターネット(別紙参照)のいずれかをお選びください。
4. 調査票(紙)でご回答いただく場合、同封の返信用封筒に入れてお近くの郵便ポストに投函してください。切手は不要です。
5. この調査は「無記名方式」ですので、調査票や返信用封筒にお名前やご住所は記入しないでください。
6. インターネットでご回答いただく場合、返信用封筒は破棄(捨てて)ください。

ご回答期限: 令和7年10月24日(金曜日)

※ポストへの投函もこの日まででお願いします。

【調査に関するお問合せ先】

奈良県福祉保険部介護保険課介護計画係
〒630-8501 奈良市意々路町30番地
電話 0742-27-8524

問7 あなたは、支援を必要とする高齢者の情報をどのように入手していますか。(○は主なもの3つまで)

- 1 必要に応じて行政から個人情報を入手している
- 2 行政から一括で地域の要配慮者の個人情報を入力している
- 3 自治会等から要配慮者に関する個人情報を入力している
- 4 行政から支援等の依頼のあった調査に際して個人情報を入力している
- 5 行政から避難行動要支援者等に関する個人情報を入力している
- 6 特に関人情報は得ず、訪問等により自身で情報収集している
- 7 その他()

問8 市町村や地域包括支援センターから提供される支援を必要とする高齢者に関する情報は、あなたの担当地区での支援活動にどの程度役立っていますか。(○は1つ)

- 1 十分に役立っている
- 2 ある程度役立っている
- 3 あまり役立っていない
- 4 情報が提供されていない

問9 社会福祉協議会から提供される支援を必要とする高齢者に関する情報は、あなたの担当地区での支援活動にどの程度役立っていますか。(○は1つ)

- 1 十分に役立っている
- 2 ある程度役立っている
- 3 あまり役立っていない
- 4 情報が提供されていない

問10 あなたは、介護保険など福祉サービスに関する情報は、どこから入手していますか、または、得たいと思いますか。(○はいづつでも)

- | | | |
|---------------|--------------|-----------|
| 1 市町村 | 2 地域包括支援センター | 3 社会福祉協議会 |
| 4 民生委員の連絡調整会議 | 5 インターネット | 6 新聞・雑誌 |
| 7 その他() | | |

問11 あなたは、高齢者の支援活動を展開していくうえで、行政などからどのような情報提供が必要だと思いますか。(○は主なもの3つまで)

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1 医療に関する情報 | 2 介護保険、介護サービスに関する情報 |
| 3 見守り対象者やその家族に関する個人情報 | 4 相談窓口に関する情報 |
| 5 緊急時・災害時の対応に関する情報 | 6 認知症に関する情報 |
| 7 地域で活動するボランティア団体等に関する情報 | 8 消費者被害・特殊詐欺被害防止に関する情報 |
| 9 その他() | |

2. 地域福祉の現状についておたずねします。

問12 あなたが担当している地区では、住民の主体的な取り組みによる助けあいや支えあいはどの程度行われていますか。(○は1つ)

- 1 かなり活発に行われている
- 2 ある程度は行われている
- 3 あまり行われていない
- 4 まったく行われていない
- 5 わからない

問13 あなたが担当している地区では、ボランティア活動やNPOなど組織による福祉活動はどの程度行われていますか。(○は1つ)

- 1 かなり活発に行われている
- 2 ある程度は行われている
- 3 あまり行われていない
- 4 まったく行われていない
- 5 わからない

問14 孤立死について、あなたが担当している地区で事案がありましたか。(○は1つ)

※孤立死とは、地域で亡くなった事柄に近隣の事柄が気づかず、相当日数を経過してから発見されることを指します。

- 1 過去に事案があったと聞いた
- 2 直接事案を知っている
- 3 なかった(なかったと聞いていない)
- 4 わからない

問15 8050問題について、あなたが担当している地区で事案がありますか。(○は1つ)

※8050問題とは、高齢の親と働いていない、独身の50代の子が同居している世帯が抱える課題を指します。

- 1 現在ある
- 2 現在は無いが、過去にはあった(あったと聞いている)
- 3 これまでも現在もない
- 4 わからない

3. 関係機関との連携状況についておたずねします。

問16 あなたが関わる高齢者の情報について、次にあげる関係機関・職種との連携はどのような状況ですか。

(以下の①～⑥それぞれについて、○は1～4のいずれか1つ)

	よく れている	と よ く あ る 程 度 あ る	と ま り あ る 程 度 あ る	と ま り あ る 程 度 あ る	ほ と と ん ど あ る 程 度 あ る
①地域包括支援センター	1	2	3	4	4
②ケアマネジャー	1	2	3	4	4
③介護保険外サービス事業者	1	2	3	4	4
④市町村の介護保険担当者等	1	2	3	4	4
⑤他の民生委員、福祉協力員など	1	2	3	4	4
⑥社会福祉協議会	1	2	3	4	4

問17 高齢者支援において、今後、連携を強めなければならないと考えている機関・窓口はどこですか。

(○は主なもの5つまで)

- | | |
|------------------------|-----------------------------|
| 1 市町村の高齢福祉部門 | 2 市町村の高齢福祉以外の福祉部門(障害、生活保護等) |
| 3 市町村の福祉以外の部門(住宅担当部署等) | 4 地域包括支援センター |
| 5 介護サービス事業所 | 6 介護保険施設 |
| 7 居宅介護支援事業所・ケアマネジャー | 8 在宅介護支援センター |
| 9 社会福祉協議会 | 10 医療機関 |
| 11 NPO・ボランティア等の民間機関 | 12 他の民生委員 |
| 13 福祉委員 | 14 民間事業者(郵便局、新聞、宅配業者等) |
| 15 警察 | 16 その他() |
| 17 構わない | |

問18 あなたは、「地域ケア会議」について知っていますか。(○は1つ)

※地域ケア会議とは、行政・介護・医療関係者、民生委員、住民組織等からなる会議で、地域包括支援センターまたは市町村が主催します。地域ケア会議は、個別ケースの支援や課題解決だけでなく、個別ケースに共通する地域課題を発見し、地域づくり・社会資源の開発・施設等の充実によって地域課題を解決していくことで、高齢者への支援の土台となる社会基盤(地域包括ケアシステム)の深化・推進を図ります。

- 1 会議に参加したことがある
- 2 会議に参加したことはないが、ある程度内容を知っている
- 3 聞いたことはあるが、内容はわからない
- 4 聞いたことがない
- 5 その他()

問19 あなたは、「成年後見制度」について知っていますか。(○はい×つでも)

- 1 知らない、聞いたことがない
- 2 詳しくは知らないが聞いたことはある
- 3 後見人ができること、できないことが何かを知っている
- 4 成年後見制度利用が必要と思われるケースが分かる
- 5 成年後見制度の利用についての相談窓口を知っている
- 6 市町村長による申立てが可能であることを知っている
- 7 任意後見制度があることを知っている
- 8 日常生活自立支援事業があることを知っている

問20 高齢者虐待への対応策として必要と思われる制度や仕組みについてお答えください。

(○はい×つでも)

- 1 機関職員等向けの相談窓口の整備
- 2 虐待者への相談・支援の充実
- 3 緊急避難の受け入れ体制の充実
- 4 高齢者虐待に関する法制度の整備
- 5 高齢者を見守る地域等のネットワークの建立
- 6 対応者をアロウする機関の設置
- 7 虐待者の心身のリハビリテーション体制の充実
- 8 対応マニュアルの整備
- 9 機関相互の情報共有
- 10 住民に対する教育・啓発
- 11 住民向けの相談窓口の整備
- 12 機関職員等に対する教育・啓発の機会の充実
- 13 警察・司法機関との連携・介入
- 14 地域福祉権利擁護事業の充実
- 15 その他()

4. あなたご自身のことについておたずねします。

問21 あなたの満年齢及び民生委員の経験年数をご記入ください。

(令和7年9月1日現在でお答えください)

年齢()歳 民生委員の経験年数()年

問22 あなたがお住まいの市町村はどこですか。(○は1つ)

- | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|
| 1 奈良市 | 2 大和郡田市 | 3 大和郡山町 | 4 天理市 | 5 橿原市 |
| 6 桜井市 | 7 五條市 | 8 狹野市 | 9 生駒市 | 10 香芝市 |
| 11 葛城市 | 12 宇陀市 | 13 上添村 | 14 平群町 | 15 三郷町 |
| 16 斑鳩町 | 17 安堵町 | 18 川西町 | 19 三宅町 | 20 田原本町 |
| 21 曾根村 | 22 額杖村 | 23 草取町 | 24 明日香村 | 25 上牧町 |
| 26 三寺町 | 27 広陵町 | 28 河合町 | 29 吉野町 | 30 大淀町 |
| 31 下市町 | 32 黒滝村 | 33 天川村 | 34 野迫川村 | 35 十津川村 |
| 36 下北山村 | 37 上北山村 | 38 川上村 | 39 東吉野村 | |

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

10. 市町村・地域包括支援センター

1. 貴センターのことについておたずねします。

【センター】

問1 貴センターの類型についてご記入ください。

貴センター名						
所在市町村名						
貴センターの運営方式	1 直営	2 委託(社協)	3 委託(医療法人)	4 委託(NPO法人)	5 委託(財団法人)	6 委託(その他)

【センター】

問2 貴センターの配置職員数を職種別にご記入ください。また、非常勤の職員については、常勤換算数も記入してください。

	常勤	非常勤(実数)	非常勤(常勤換算数)
A 保健師	人	人	人
B 保健師に準ずる者	人	人	人
C 社会福祉士	人	人	人
D 社会福祉士に準ずる者	人	人	人
E 主任介護支援専門員	人	人	人
F 主任介護支援専門員に準ずる者	人	人	人
G 看護師・准看護師	人	人	人
H 理学療法士・作業療法士	人	人	人
I 介護福祉士	人	人	人
J その他職種(事務等)	人	人	人

※常勤換算数の計算方法

〔換算数〕＝「職員の1週間の勤務時間の合計」÷「施設が定めている1週間の勤務時間」

小数点以下第2位を四捨五入して小数点以下第1位まで計上してください。得られた結果が0.1に満たない場合は、「0.1」と計上してください。

【センター】

問3 貴センターの職員体制について、配置職員数の職種別の充足度はいかがですか。(以下のA～Dのそれぞれについて、○は1、2のいずれか1つ)

	1 充足	2 不足
A 保健師	1	2
B 社会福祉士	1	2
C 主任介護支援専門員	1	2
D その他職種(事務等)	1	2

J 市町村・地域包括支援センター用

高齢者の生活・介護等に関する県民アンケート調査 ご協力をお願い

日頃より、奈良県政へのご協力をいただき、ありがとうございます。
このたび、奈良県におきまして、県民の高齢期の生活・介護等に関する意識や実態を正確に把握し、県の高齢者福祉施策に反映させるための調査を実施します。調査の結果は、県高齢者福祉計画及び第10期介護保険事業支援計画の策定など、今後の高齢者福祉行政を展開する上での基礎資料として活用させていただきます。

調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。

奈良県 福祉保険部 介護保険課長

ご回答に当たってのお願い

1. 市町村、地域包括支援センターそれぞれにご回答いただく設問は下表のとおりです。

各設問に【センター】【市町村】【センター及び市町村】の別を表示しています。

	問1	問2	問3	問4	問5	問6	問7	問8	問9	問10	問11	問12	問13	問14	問15
市町村															
地域包括支援センター															
市町村															
地域包括支援センター															

2. 令和7年9月1日現在の状況についてご回答ください。

ご回答期限：令和7年10月24日(金曜日)

※下記メールアドレスに送信してください。

choju@office.pref.nara.lg.jp

【調査に関するお問合せ先】

奈良県福祉保険部介護保険課
〒630-8501 奈良市意太路町30番地
電話 0742-27-8524

2. 高齢者に対する支援の実施状況についておたずねします。

【センター】

問4 貴センターが所管する地域にお住まいの高齢者にとって、介護保険サービスはどの程度充足していますか。(○は1つ)

- 1 在宅・施設サービスとも充足
- 2 在宅サービスは充足しているが、施設サービスは不足
- 3 施設サービスは充足しているが、在宅サービスは不足
- 4 在宅・施設サービスとも不足
- 5 わからない

【センター及び市町村】

問5 貴センター、貴市町村において比較的ニーズの高い支援・サービスにはどのようなものがありますか。(○は主なもの3つまで)

- 1 日常の声かけ・見守り
- 2 洗濯、家の中の掃除など
- 3 コミ出し、冠婚葬祭など
- 4 食事（調理）の支援
- 5 買い物支援
- 6 話し相手
- 7 移動の支援（主として交通手段に関すること）
- 8 外出の付き添いや介助（主として外出先での身体的介助に関すること）
- 9 病院や公共施設での案内（病院や公共施設での付き添いや介助を含む）
- 10 役所に提出する書類作成の手助け
- 11 配食や会食のサービス提供
- 12 レクリエーション活動
- 13 安否確認サービス
- 14 緊急時の通報システム
- 15 その他（ ）
- 16 受けたくない

【センター及び市町村】

問6 問5で選んだものうち、サービスの不足によりニーズに対応できていないものはありますか。(どちらかに○)

- 1 ある → 問5で選んだ番号（ ）
- 2 ない

【センター】

問7 貴センターでは、休日・夜間どのような対応をしていますか。(○はいくつでも)

- 1 24時間開設している
- 2 センターの職員が当直・宿直を行っている
- 3 センター庁舎の警備員が当直・宿直を行い、センター職員に連絡をとっている
- 4 センター職員が携帯電話番号を利用者にも知らせ、連絡がとれるようにしている
- 5 市町村役場等、他の連絡先を案内（普段からの周知の他、休日・夜間はテープが流れ緊急時の連絡先を案内している場合を含む）
- 6 その他（ ）

3. 各事業の取り組み状況についておたずねします。

【センター及び市町村】

問8 貴センター、貴市町村の各事業への取り組み状況についてお答えください。(以下のA～Hのそれぞれについて、○は1～4のいずれか1つ)

	1 よく できている	2 できている	3 あまり できていない	4 できていない
A 総合相談支援業務	1	2	3	4
B 権利擁護業務	1	2	3	4
C 包括的・総合的マネジメント業務	1	2	3	4
D 介護予防ケアマネジメント業務	1	2	3	4
E 地域包括支援ネットワークの構築	1	2	3	4
F 地域ケア会議	1	2	3	4
G 地域包括ケアシステムの構築	1	2	3	4
H 生活支援	1	2	3	4

【センター及び市町村】

問9 介護予防の普及・啓発に関する取り組みの推進状況はいかがですか。(○は1つ)

- 1 十分に行っている
- 2 ある程度行っている
- 3 十分とは言えない
- 4 行っていない

【センター及び市町村】

問10 健康づくり・介護予防に関する住民主体の活動や取組に対する支援はどの程度行われていますか。(○は1つ)

- 1 十分に行っている
- 2 ある程度行っている
- 3 十分とは言えない
- 4 行っていない

【センター及び市町村】

問11 健康づくり・介護予防に関する住民主体の活動や取組に対して、担当職員の派遣や活動の場を提供を行っていますか。(○は1つ)

- 1 十分に行っている
- 2 ある程度行っている
- 3 十分とは言えない
- 4 行っていない

【センター及び市町村】

問12 機能回復訓練だけではなく、高齢者を取り巻く環境へのアプローチも含めた一般介護予防事業を実施していますか。(○は1つ)

- 1 十分に行っている
- 2 ある程度行っている
- 3 十分とは言えない
- 4 行っていない

【センター及び市町村】

問13 リハビリテーション専門職等を活かした自立支援に資する取組を推進していますか。(○は1つ)

- 1 十分に行っている
- 2 ある程度行っている
- 3 十分とは言えない
- 4 行っていない

4. 関係機関との連携状況についておたずねします。

【センター】

問20 貴センターが関わる高齢者の情報について、次にあげる関係機関、職種との連携はどのような状況ですか。(以下の①～⑪それぞれについて、○は1～4のいずれか1つ)

	運	連	携	状	況
① 主治医・かかりつけ医	1	2	3	4	ほとんと れてい ない
② 歯科医師	1	2	3	4	ほとんと れてい ない
③ 薬剤師	1	2	3	4	ほとんと れてい ない
④ 理学療法士等のリハビリ職	1	2	3	4	ほとんと れてい ない
⑤ 医療ソーシャルワーカー	1	2	3	4	ほとんと れてい ない
⑥ 他の地域包括支援センター	1	2	3	4	ほとんと れてい ない
⑦ 在宅介護支援事業所	1	2	3	4	ほとんと れてい ない
⑧ 介護保険外サービス事業者	1	2	3	4	ほとんと れてい ない
⑨ 市町村の介護保険担当者等	1	2	3	4	ほとんと れてい ない
⑩ 民生委員、福祉協力員など	1	2	3	4	ほとんと れてい ない
⑪ 社会福祉協議会	1	2	3	4	ほとんと れてい ない

【センター及び市町村】

問21 あなたは、介護従事者と医療関係者等多職種連携を進める上で、どのような問題点があるとお考えですか。(○は主なもの1つ)

- 1 具体的な連携方法が分からない
- 2 異職種間での意思疎通が難しい
- 3 連携するためのツール（ICTを活用したシステム等）がない
- 4 多職種が所属している組織の理解が得られない
- 5 その他（ ）

【市町村】

問22 災害発生時に備えた要配慮者の避難支援体制について、管内の介護事業所との連携状況をお答えください。

- 1 よくとれている
- 2 ある程度とれている
- 3 あまりとれていない
- 4 ほとんどとれていない

【市町村】

問14 貴市町村の、一般介護予防事業への高齢者の参加率（%）はどの程度ですか。(○は1つ)

- 1 5%未満
- 2 5%以上10%未満
- 3 10%以上15%未満
- 4 15%以上

【市町村】

問15 貴市町村での、保険者機能強化推進交付金・介護保険保険者努力支援交付金の活用はどのような状況ですか。(○は1つ)

- 1 十分に非常に活用できている。
- 2 ある程度活用できている。
- 3 あまり活用できていない。

▶ 問15で「3」を選択された市町村におうかがいします。

【市町村】

問16 交付金が活用できていない主な原因は何だと思いますか。(○は2つまで)

- 1 人員が不足しており、事業ができなため
- 2 指図が変わってわかりにくいいため
- 3 交付金額が少ないため
- 4 申請等の事務が大変であるため
- 5 どのように活用すればいいかわからないため

【市町村】

問17 認定調査についてお伺いします。要介護認定の審査期間の長期化が課題となっていますが、貴市町村において平均審査期間の状況はどうですか。(○は1つ)

- 1 30日以内に審査している。
- 2 30日を越えている。

◀ 問17で「2」を選択された市町村におうかがいします。

【市町村】

問18 審査期間が長期化している主な原因は何だと思いますか。(○は2つまで)

- 1 調査員の不足
- 2 申請の増加
- 3 主治医意見書の作成に時間がかかる
- 4 審査会の開催回数が少ない
- 5 その他（ ）

【市町村】

問19 ACP(アドバンスケアプランニング)に関する普及・啓発状況についてお答えください。(○はいくつでも)

- 1 パンフレットを作成している
- 2 関係者向けに研修を実施している
- 3 エンディングノートを配布している
- 4 広報紙で周知している
- 5 動画配信チャネルで動画を配信している
- 6 特に普及・啓発はしていない
- 7 その他（ ）

5. 地域包括ケアの推進体制についておたずねします。

【センター】

問23 貴センターでは、立地地域との交流・連携のために取り組んでいる取り組みはありますか。
(〇はいくつでも)

- 1 センターの土地や設備を地域住民の交流に活用・提供している
- 2 地域の行事や自治会活動に参加している
- 3 地域住民が行う生活支援ボランティア活動に、専門知識やノウハウを提供している
- 4 その他 ()
- 5 特に何もしていない

【センター】

問24 貴センターが高齢者支援において、現在、連携をしている機関・窓口はどこですか。
(〇は主なもの5つまで)

- 1 貴市町村の高齢福祉部門
- 2 貴市町村の高齢福祉以外の福祉部門 (障害、生活保護等)
- 3 貴市町村の福祉以外の部門 (公営住宅等)
- 4 他市町村の高齢福祉部門
- 5 他市町村の高齢福祉以外の福祉部門
- 6 他市町村の福祉以外の部門
- 7 他の地域包括支援センター
- 8 介護サービス事業所
- 9 介護保険施設
- 10 居宅介護支援事業所・ケアマネジャー
- 11 在宅介護支援センター
- 12 社会福祉協議会
- 13 医療機関
- 14 NPO・ボランティア等の民間機関
- 15 民生委員
- 16 福祉委員
- 17 民間事業者 (郵便局、新聞、宅配業者等)
- 18 警察
- 19 その他 ()
- 20 特になし

【センター】

問25 貴センターが高齢者支援において、今後、連携を強めなければならないと考えている機関・窓口はどこですか。(〇は主なもの5つまで)

- 1 貴市町村の高齢福祉部門
- 2 貴市町村の高齢福祉以外の福祉部門 (障害、生活保護等)
- 3 貴市町村の福祉以外の部門 (公営住宅等)
- 4 他市町村の高齢福祉部門
- 5 他市町村の高齢福祉以外の福祉部門
- 6 他市町村の福祉以外の部門
- 7 他の地域包括支援センター
- 8 介護サービス事業所
- 9 介護保険施設
- 10 居宅介護支援事業所・ケアマネジャー
- 11 在宅介護支援センター
- 12 社会福祉協議会
- 13 医療機関
- 14 NPO・ボランティア等の民間機関
- 15 民生委員
- 16 福祉委員
- 17 民間事業者 (郵便局、新聞、宅配業者等)
- 18 警察
- 19 その他 ()
- 20 特になし

【センター及び市町村】

問26 地域ケア会議の現状についてお答えください。(〇は主なもの5つまで)

- 1 開催している会議が地域ケア会議に該当するのかわからない
- 2 目指すような地域ケア会議のレベルには達していないと感じている
- 3 十分ではないが、ケア会議と呼べる内容の会議が開催・運営されている
- 4 概ね満足いくケア会議となっている
- 5 地域ケア会議を通じて、困難ケースへの支援が充実した
- 6 地域ケア会議を通じて、不足する社会資源の開発に繋げることができた
- 7 困難ケースに対する支援の充実や社会資源の開発に繋げることができていない
- 8 様々な機関に参加を呼びかけており、今後は徐々に参加機関が広がることが予想される
- 9 様々な機関に参加を呼びかけているが思いうように参加が得られない
- 10 他機関に対しては参加を要請できていない
- 11 自立支援・重症化防止につながった
- 12 自立支援・重症化防止につながっていない
- 13 その他 ()

6. 地域包括支援センター運営協議会の状況についておたずねします。

【市町村】

問27 貴市町村では、地域包括支援センター運営協議会を設置・運営していますか。(〇は1つ)

- 1 設置し、充実した運営や検討がなされている
- 2 設置し、十分とは言えないまでも目的とした役割を果たしている
- 3 設置したが、形式的な報告事項にとどまり内容的には不十分と感じている
- 4 設置したが、その後の開催や運営が不十分で、実質的に休眠状態に近い
- 5 運営協議会を設置していない
- 6 その他 ()

【市町村】

問28 貴市町村における地域包括支援センター運営協議会について検討されていることについてお答えください。(〇はいくつでも)

- 1 センターの事業計画に関する評価に関すること
- 2 センターの活動実績に関する評価に関すること
- 3 センターの人員、体制整備等に関すること
- 4 センターの管轄地域等に関すること
- 5 センターの委託先法人の選定や変更に関すること
- 6 センターが介護予防支援の一部を委託する居宅介護支援事業所の選定等に関すること
- 7 市町村の政策方針に関すること
- 8 地域包括ケアシステムの構築に関する取り組みに関すること
- 9 地域包括ケアシステムの構築目標や進捗に係る評価手法に関すること
- 10 地域ケア会議の開催・運営に関すること
- 11 地域ケア会議の充実等に係る評価手法に関すること
- 12 市町村における医療・介護の連携に関すること
- 13 その他 ()

【センター及び市町村】

問29 成年後見制度について、日々の業務を通じて感じる制度の状況についてお答えください。
(○は主なもの3つまで)

- 1 知っていても使う人が少ない
- 2 利用に抵抗を感じる人が多い
- 3 勧めたいケースがあるが、説明が難しい
- 4 制度について相談できる機関や人がいない
- 5 費用負担が支障となっている
- 6 制度の周知が進んでいない
- 7 後見人の確保が難しい・後見人になる人がいない

【センター及び市町村】

問30 高齢者虐待の対応に関する取組の状況についてお答えください。(○はいくつでも)

- 1 虐待対応に關する独自のマニュアルを作成している
- 2 虐待対応に關する外部の研修に職員が参加している
- 3 虐待対応に關する職員向けの研修会を実施している
- 4 虐待対応に關する事業所向けの研修会を実施している
- 5 高齢者虐待に關する住民向けの講演会やフォーラムを開催している
- 6 パンフレットやチラシの配布等による住民に対する啓発に取り組んでいる
- 7 警察との連携を行っている
- 8 警察以外の関係機関との連携を行っている
- 9 専門部署や通報窓口を設置している
- 10 その他 ()

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

高齢者の生活・介護等に関する県民アンケート調査 ご協力をお願いします

日頃より、奈良県政へのご協力をいただき、ありがとうございます。
このたび、奈良県におきまして、県民の高齢者の生活・介護等に関する意識や実態を正確に把握し、県の高齢者福祉施策に反映させるための調査を実施します。調査の結果は、県高齢者福祉計画及び第10期介護保険事業支援計画の策定など、今後の高齢者福祉行政を展開する上での基礎資料として活用させていただきます。なお本調査票は、認定調査員の方に送付させていただきます。
ご回答は無記名方式です。ご回答いただいた内容は統計的に処理するため、個人が特定されることはありません。また調査目的以外には使用しませんので、情報漏洩などのご心配は一切ございません。
お忙しいところお手数をかけしますが、一人でも多くの方のご回答がより有効な調査結果につながります。調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力いただけますようお願い申し上げます。

奈良県 福祉保険部 介護保険課長

ご回答に当たってのお願い

1. 認定調査員の方にご回答をお願いします。
2. 令和7年10月1日現在の状況についてご回答ください。
3. 回答方法は、調査票(紙)への記入またはインターネット(別紙参照)のいずれかをお選びください。
4. 調査票(紙)でご回答いただく場合、同封の返信用封筒に入れてお近くの郵便ポストに投函してください。
切手は不要です。
5. この調査は、無記名方式ですので、調査票や返信用封筒にお名前やご住所は記入しないでください。
6. インターネットでご回答いただく場合、返信用封筒は破棄(捨てて)ください。

ご回答期限:令和7年10月24日(金曜日)

※ポストへの投函もこの日までにお願いをします。

【調査に関する問合せ先】

奈良県福祉保険部介護保険課 調査計画係
〒630-8501 奈良市豊大路町30番地
電話 0742-27-8524

1. あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたは、令和7年9月1日現在で、認定調査員の仕事(業務)を始めてから何年になりますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1 6か月未満 | 2 6か月以上1年未満 |
| 3 1年以上3年未満 | 4 3年以上5年未満 |
| 5 5年以上10年未満 | 6 10年以上 |

問2 あなたは、今までに認定調査をおよそ何件行いましたか。

新規(件)	更新(件)	区分変更(件)
-------	-------	---------

問3 あなたは、認定調査員の仕事以外に、収入のある仕事をしていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1 フルタイムで週に5日以上働いている | 2 フルタイムで週に3～4日働いている |
| 3 フルタイムで週に1～2日働いている | 4 パートタイムで週に5日以上働いている |
| 5 パートタイムで週に3～4日働いている | 6 パートタイムで週に1～2日働いている |
| 7 認定調査員以外の仕事はしていない | |

2. 認定調査業務全般についておたずねします。

問4 あなたは、認定調査に関する各種情報等を調査員同士で共有していますか。(どちらかに○)

- | | |
|----------|-----------|
| 1 共有している | 2 共有していない |
|----------|-----------|

問5 あなたは、認定調査について、認定調査員同士でどのような情報の共有を行っていますか。(○は主なものを3つまで)

- | | |
|-------------------------|-------------------------|
| 1 判断に迷う状況 | 2 必要事項を調査しつつ、時間効率を高める方法 |
| 3 対象者の状態を正確に把握する方法 | 4 調査員の主観をできるだけ排除した調査方法 |
| 5 事務的作業の効率化の方法 | 6 介護に関するセミナー、研修会等の内容 |
| 7 調査マニュアル記載事項の解釈についての情報 | 8 調査票、特記事項の記入方法、記述表現方法 |
| 9 その他() | |

問6 あなたは、認定調査を行う上で、苦勞するのはどのような事ですか。(○は主なものを3つ)

- | |
|-------------------------------|
| 1 調査項目の定義がわかりづらく、一次調査の判断がしづらい |
| 2 調査対象者の普段の姿を調査しづらい |
| 3 調査対象者の意向に左右されてしまうことがある |
| 4 認定調査の日程調整に苦勞する |
| 5 認定調査の場所調整に苦勞する |
| 6 認定対象者とのコミュニケーション |
| 7 認定対象者の家族とのコミュニケーション |
| 8 その他() |

問10 あなたは認定調査の精度を高めるために、今後どのような取り組みが必要だと思いますか。

(○は主なもの3つまで)

- 1 認定調査員の数を増やし、1人の調査員が担当する人数を減らす
- 2 認定調査を専門に行う企業などに委託する
- 3 認定調査員向けeラーニングの受講率を向上させる
- 4 介護関連のセミナー、研修会に参加する等、調査員が自己研鑽に努める
- 5 関連資格やセミナー、研修会への参加に対する助成を充実する
- 6 医師やケアマネジャー等、関係者との連携を密にする
- 7 介護認定審査を複数人で実施できるようにする
- 8 書類作成など、事務的作業を外部化し、認定調査に専念できる体制をつくる
- 9 認定調査員の知識及び技能の標準化
- 10 その他
- 11 特になし

問11 あなたは、認定のパラツキはあると思いますか。(○は1つ)

- 1 ある
- 2 どちらかといえばある
- 3 どちらかといえばない
- 4 ない

問12 その原因は何とお考えですか。(○は主なもの3つまで)

- 1 調査員の業務が過剰である
- 2 調査に十分な時間をかけられない
- 3 申請者や家族の意向に影響されることがある
- 4 セミナーや研修会が少ない
- 5 セミナーや研修会に参加できない
- 6 本人の状態を正確に把握することが難しい
- 7 主治医意見書が正確に記録されていないことがある
- 8 市町村や認定調査員間で独自の判断基準を設けている
- 9 審査会の判断が合議体によって異なる
- 10 その他

問13 あなたの性別をお答えください。(○は1つ)

- 1 男性
- 2 女性
- 3 その他

問14 あなたの年齢(満年齢)をお答えください。(令和7年9月1日現在でお答えください)

- 1 20代
- 2 30代
- 3 40代
- 4 50代
- 5 60代
- 6 70歳以上

問15 現在の主たる勤務地はどこですか。(○は1つ)

- | | | | | |
|---------|---------|---------|---------|---------|
| 1 奈良市 | 2 大和高田市 | 3 大和郡山市 | 4 天理市 | 5 橿原市 |
| 6 桜井市 | 7 五條市 | 8 御所市 | 9 生駒市 | 10 香芝市 |
| 11 葛城市 | 12 宇陀市 | 13 山添村 | 14 平群町 | 15 三郷町 |
| 16 斑鳩町 | 17 安堵町 | 18 川西町 | 19 三宅町 | 20 田原本町 |
| 21 筒井村 | 22 御杖村 | 23 高取町 | 24 明日香村 | 25 上牧町 |
| 26 王寺町 | 27 広陵町 | 28 河合町 | 29 吉野町 | 30 大淀町 |
| 31 下市町 | 32 黒滝村 | 33 天川村 | 34 野迫川村 | 35 十津川村 |
| 36 下北山村 | 37 上北山村 | 38 川上村 | 39 東吉野村 | |

調査にご協力いただき、ありがとうございます。

問7 認定調査を行ううえで、よく判断に迷うのはどの項目ですか。(○は主なもの5つまで)

また、そのうち最も判断に迷う項目の番号とその具体的な内容を下欄にご記入ください。

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|------|-------|---------|--------|----------|------|---------|----------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|--------|---------|-------|-------|---------|-------|------|----------|------------|-------|----------|-------------|------------|---------|-------------|------------|----------|-------|-------------|---------|-------|----------|----------|---------------|----------|-----------|-----------|---------------|----------------|---------|-----------|-------------|------------|-------------|-----------|----------|------------|-----------|-------|----------|----------------|-------------|--------------|--------|
| 1 座褥 | 2 褥瘡 | 3 寝返り | 4 起き上がり | 5 座位保持 | 6 両足での立位 | 7 歩行 | 8 立ち上がり | 9 片足での立位 | 10 洗身 | 11 つめ切り | 12 視力 | 13 聴力 | 14 移動 | 15 排尿 | 16 えん下 | 17 食事摂取 | 18 排便 | 19 排便 | 20 口腔清潔 | 21 洗顔 | 22 髪 | 23 衣服の着脱 | 24 スボン等の着脱 | 25 整容 | 26 意思の伝達 | 27 毎日の日課を理解 | 28 生年月日を言う | 29 短期記憶 | 30 自分の名前を言う | 31 今の季節を理解 | 32 場所の理解 | 33 排便 | 34 外出して戻れない | 35 緊急事態 | 36 作話 | 37 情緒不安定 | 38 昼夜の逆転 | 39 しつこく同じ話をする | 40 大声を出す | 41 介護への抵抗 | 42 落ち着かない | 43 外出時に目が離せない | 44 無断でものを持ってくる | 45 敬禮行為 | 46 ひどい物忘れ | 47 独り言、独り笑い | 48 自分勝手な行動 | 49 話がまとまらない | 50 集団への不応 | 51 金銭の管理 | 52 日常の意思決定 | 53 薬田への不応 | 54 買物 | 55 簡単な調理 | 56 特別な医療に関すること | 57 障害高齢者自立度 | 58 認知症高齢者自立度 | 59 その他 |
|------|------|-------|---------|--------|----------|------|---------|----------|-------|---------|-------|-------|-------|-------|--------|---------|-------|-------|---------|-------|------|----------|------------|-------|----------|-------------|------------|---------|-------------|------------|----------|-------|-------------|---------|-------|----------|----------|---------------|----------|-----------|-----------|---------------|----------------|---------|-----------|-------------|------------|-------------|-----------|----------|------------|-----------|-------|----------|----------------|-------------|--------------|--------|

問8 あなたは、認定調査について分からないことがあったり、判断に迷ったりした際、誰に相談していますか。

(○は主なもの3つまで)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1 ケアマネジャー | 2 地域包括支援センターの担当者 |
| 3 市町村の介護保険担当者 | 4 医師 |
| 5 認定審査会委員 | 6 他の認定調査員 |
| 7 職場の同僚・上司 | 8 その他 |
| 9 相談できる相手はいない | 10 相談せず、自分で調べている |

問9 国において要介護認定の審査期間の長期化が課題とされていますが、審査期間が長期化している主な原因は何だと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1 調査員の不足 | 2 申請の増加 |
| 3 主治医意見書の作成に時間がかかる | 4 審査会の開催回数が少ない |
| 5 その他 | |

裏面の質問にもお答えください。

高齢者の生活・介護等に関する県民調査
調査結果報告書（資料編）

令和8年3月

発行 奈良県福祉保険部 介護保険課